

## 福島高専 図書館報

### 今年度の目標

#### 1. 学生必読書目を決める。

去る昭和43年度には、低・中学年別に、人文社会科学・自然科学・芸術語等文学の三分野ごとに120冊の推薦図書が発表されている。

その後15年間の時代の進展に応じ、また学生の実態に即して、改訂新版書目を提供したい。教官各位の選定を得て、年度末までに委員会でもとめる予定を立てている。

#### 2. 「読みごたえのある本」の読書を勧める。

教室にまでマンガ本が出まわる現実はきびしいが、読む前と読んだ後では人が変わった、という程の読書体験を青春の日に何回か持たせたい。

どっしりした、従ってページ数の多い、古今の名著にアタックし給え — 帯出期間も二週間に延びた今こそその機会というもの。

#### 3. 閲覧室の活用を促す。

手ぶらで気安く入れるのが図書館のねらいの一つでもある。

雑誌類などの軽読書のほかに、自習時間や放課後の予習・復習にも、静かな88の産席が待っている。

卒業生寄贈の大百科辞典を始め、各種の辞典や、各専門学科の便覧類も自由に取り出せるところに進出させてある。

#### 4. 学生図書委員の活動を期待する。

図書館規定第5条に「図書館の運営に協力援助するもの」として、大きな期待が寄せられている。

各学級や個々学生と図書委員会との橋渡しとなって昨年度は地味な力を奉仕してくれたが、自主的に積極的に今後、いっそう活動を望みたい。

(館長)

### 目 次

今年度の目標 .....	館長 1	寄贈図書紹介 .....	7
巻頭言 読書への欲求 .....	佐藤憲男 2	新着図書目録 .....	8
楽しむための読書をしませんか ...	穴戸 博 2	読んでみませんか .....	各教官 14
S F のすすめ .....	添田弘毅 4	今年度の顔振れ .....	16
利用者統計 .....	5	当館の歩み .....	16

## 〈巻頭言〉

# 読書への欲求

図書委員 機械工学科 佐藤 憲 男

人間の行為は自己の内部にある欲求によって動機づけられるものだとされている。もっともよく知られている動機理論の一つは、アブラハム・マズローの「欲求段階説」である。この説によれば行為の原動力となる欲求は、生理的欲求（食べる・眠る等の個体保存の欲求）から始まって、安全の欲求（身体の安全・精神の安定等の欲求）、社会的欲求（地位・財力・権力保持等の欲求）、を経てしだいに向上し最終的に自己実現の欲求に向かって漸進的發展をするものとされている。もちろん欲求の発現や強度は時期・年齢・状況によって増減する。それではこれらの欲求が高まるとストレートに行動に移るものであるといえれば必ずしもそうとは断言できない。記憶や思考によって欲求を“よりよく”満たすための選択（問題解決）が行われてはじめて行動するのが通常の形態である。

読書は“よりよく生きたい”と願う人間の根本的欲求にとって不可欠なものである。よりよく生きるためには情報（知識）の入手と選択（問題解決）が

重要な課題となるはずである。問題解決には知識を適切に運用するための思考を伴う。思考する場合、情報源の種類によって大きく影響を受けるものである。現在の情報源としては、書籍（活字型）とテレビ（映像型）が最も代表的なものとして活用されているが、考えるためにはその余白にメモを書き込むための時間的・空間的広がりが必要である。映像型情報にはこの基本的要素が欠落しているように思う。例えばテレビでのスポーツ番組が多いにもかかわらず、スポーツ専門の新聞がよく売れる現象は情報源による情報の質に相違があることの証明であると理解できる。

以上のことから、“よりよく”考えることができることは“よりよく”行動ができることに結びつく。人間は行動を通じて自己を表現するものであるから、行動は生きることそのものであると言える。したがって読書への欲求はよりよく生きるための欲求である。読書の意義をもう一度自分の欲求段階を基に考えてみようではないか。

## 楽しむための読書をしませんか

学生図書委員 4 E 穴 戸 博

最近、学生は本を読まなくなってきたとよく言われます。これは、学生が多趣味になったうえに、マンガやテレビの影響を受けているためかもしれません。たしかに本校の図書館の利用冊数も、レポート用の参考文献を除くと、その数が年々減ってきています。ですが、学生は本当に本から離れているのでしょうか。

“本”というものに対するイメージには、文学書や専門書などを思い浮べる人が多いと思います。そのた

め、本は難しくて硬いものと、思い込まれている面があります。実際には、くだけていて簡単に読めるものすら、本というだけで手にすらされないことがあります。しかし、趣味や自分の興味ある分野を扱った雑誌やムックなども読まれていないかというところ、そうではありません。学生は、ガチガチの本を読まなくなっただけで、活字からはそれほど遠ざかっていません。ですからなにかのきっかけさえつかめば、本を手にする

と思います。その点、もっと文化的なバックアップが必要で

す。読書には、本の中から何かを読みとろうとする楽しみ方がありますが、これは、とても素晴らしいのですが、読書の一つの目的にしかすぎません。本来読書なんてものは、楽しみや遊びなのです。けれど、本は知識を得るものと思われ、文学的なものや予備知識さえあれば役立つもの、例えば著名な文学書や自分の力以上の専門書などを読むからいいかげん嫌になるのです。もっとリラックスして口あたりのやわらかな本を読んでもみませんか。読みやすい本も、いろいろあります。ついつい引き込まれてしまう、テンポの良い本、最後まで驚かされればなしの本、心の奥底まで何か伝わってくる本。なにも、難解な本だから内容があるというわけではなく、それよりも気休めに読んだ、ちょっとした本のほうが、充実感を味わえることがあります。遊びと思ってちょっと本を読んでもみませんか。案外、おもしろくてためになったりするものですよ。

読書は、ものすごく主観的な面を持っています。たとえ、全ての人が薦める本でも、読んでみるとおもしろくないこともありえます。逆に、今までの物の見方がひっくり返るくらいの深い感銘を受けた本が、あまり文学的価値がないこともよくあります。そのため、本を選ぶときは先入観を捨てて勘を頼りにしたほうが、自分に合った本を多く見付けられるものです。本を読まない人は、どうしてもこの勘が効きづらく、合った本を見付けにくいと思います。ですが、手当たりしだいでいいから何冊も読み続けているうちに、だんだん勘がみがかれて自分に合った本がわかってきます。もし、読みづらい本にぶつかったら、途中でやめてしまってもかまいません。自分に合った本を読んでいれば、読書の楽しみってものが十二分に味わえるからです。それに、このような読み方でも、片寄らずにいろいろ手にしてさえいれば、自分が高められてゆくものです。たまに気がむいたら名作や専門書でもどうぞ。読む気さえあれば、これらもわりとおもしろく読めるものです。

数多くの本をいちいち買うのも無理ですから、図書館を利用すれば便利です。今年から帯出期間が、1週間から2週間に延びて一冊の本をじっくりと読めるようになり、たいへん利用しやすくなりました。図書館には、3万冊以上の蔵書や各分野のさまざまな雑誌が待っています。私たちは、この図書館を使えるという素晴らしい権利を持っているのです。この権利を使わない手はありません。とにかく、図書館へ足を運んで、雰囲気を感じてください。それだけでも、本に親しみ

を感じるようになりますから。そうなればしめたもので、へんなコンプレックスなんか、すっ飛んでしまいます。

本校の図書館は、残念なことに読書を気軽に楽しませてくれるという点で、明らかに遅れています。数多くある蔵書は、専門書や自然科学が大半で、他分野のものが少なすぎます。しかも、文学や社会関係などはかなり高度の内容のものが大きな割合を占めています。たしかに高専生ならば、読むべき本はそろっていますが、これでは学生が、図書館から離れて行くばかりです。もっと柔軟な姿勢で、親しまれやすい本例えばSFでも推理小説、ファンタジーでもいいですからどんどん入れてほしいと思います。呼び水となるこれらの本を、入れたからといって、図書館のレベルが下がるとは思えません。また、レベルが高くとも、学生が利用しないのではどうしようもありません。

学生も、図書館の努力に答えてください。数は少ないですが、くだけた本も入れていますし、規則も利用しやすいように幾つか改正されました。

なによりも、読まず嫌いにだけはならないでください。本は、どんな経験をも気楽に味わえる、奥深い世界なのですから。どんなものでもいいから、自分が興味を持った本を、読んでいってください。堅苦しくなんて考えず、楽しむ読書をやりましょう。今、無限に近い本があります。どうか、一生の友となる本と巡り合えることを願っています。



# S F の す す め

3 E 添 田 弘 毅

一昔前までは、日本におけるSFの文学的地位は低いものであり、長い間迫害されていました。最近では、その風潮も少し和らぎましたが、まだまだSFを誤解している人が多いようです。テレビ・マンガ等で、本来の意味を取り違えたSFという言葉が、やたらと使用されているからでしょうか。SFとは「良い地球人が悪い宇宙人をやっつける子供向けの物語」ではないのです。確かに、そのようなSFもありますが、それは、SFという無限の広がりを持った分野のごく一部でしかありません。

ところで、SFとは何でしょうか。SFとはサイエンス・フィクションの略称ですが、スペキュレイティブ・フィクション（思弁小説）、サイエンス・ファンタジー、サイエンス・フェブルなどとも呼ばれます。日本では、空想科学小説と訳されていましたが、現存ではSFが拡大し、単に科学小説とは言えなくなっているのです、使用されていません。SFを定義することは、世界中のSF関係者たちによって試みられましたが、SFが広大な分野であるため、はっきりした定義づけはなされていません。近代SFの祖ヒューゴー・ガーンズバックは、SFを科学の驚異を大衆に知らせる手段であり、また、予言と科学的アイディアの手段である、と考えました。彼が1911年に発表した、「ラルフ124C41+」では、テレビ、蛍光灯、テープレコーダー、レーダーなどを的確に予言しました。しかし、現在では、予言や伝道という特質がSFに占める割合は、ほとんど無に近いようで、SFの定義とは言えません。SFとは、それに深くかかわっている人でも、はっきりと把握できないほど、広い分野のようです。

SFが無限の広がりを持っている理由について、SF作家であり生化学者でもあるアイザック・アシモフは「SFをSFたらしめているのは、その内容ではなく、その背景である。」と言っています。スポーツ小説は、その内容に、スポーツを織りこんでいなければなりません。戦争小説は、その内容に、戦争を織りこんでいなければなりません。

ここで、月面上で宇宙服をつけスポーツをする事を描いた小説があるとします。この小説は、スポーツ小説ですが、同時にSFでもあります。宇宙空間での戦争を描いた小説があるとすれば、それは戦争小説であって、同時にSFでもあります。小説のジャンルに限ることはありません。

たとえば、あなたが感動した名作、人々から偉大な文学と評されている小説の内容を変えずに、その舞台を人類が、手軽に宇宙旅行を楽しめる様になった未来に移したら。これは偉大な文学作品であり、同時にSFでもあります。これらの例では、小説の性質は変わりませんが、背景が変わる事によって、何かが付付け足され、SFになります。

この様に考えてゆけば、SFが広大な分野である事がわかるでしょう。また、SFが文学的に偉大な小説になれる事も分かるでしょう。現に、アメリカ・イギリスなどでは、文学的名作と認められているSFが、数多くあります。

ところで、この広いSFの中には、一つの共通した感覚があります。それは、センス・オブ・ワンダー（SOW）と呼ばれる、SF独特の感覚です。直訳すれば「新鮮な驚き」です。SFを読んでいて、突然、はっとする。そして、こんな考え方があったのか、と驚く。そして、心から感動する。この感覚をSOWと呼ぶのです。自分が思ってもみなかった、新しい視点から見た物事のとらえ方、アイデアの新鮮さ、絶対的だと思っていた事が、見事に崩されてゆく様、などに出合った時の感動の感覚をSOWと言うのです。SFを読まない人は、このSOWを感じる事が出来ずに、SFはおもしろくない、と決めつけてしまうのです。

われわれ、あまり刺激のない日常生活をしている者にとって、SF中のSOWは必要ではないでしょうか。SOWを体験することによって、新鮮な気持ちを持てば、退屈な日常生活も、変化するでしょう。また、新しい視点で物事を見る訓練にもなるでしょう。そのためにも、読まず嫌いにならずに、SFを読んでみてはどうでしょう。

# 利用者統計

## 1. 54年度～56年度3カ年学生利用状況

NDC分類	利用冊数 年度			実 数			%		
	54	55	56	54	55	56	54	55	56
総 記	604	781	579	5.5	6.6	5.0			
哲 学	961	1,222	708	8.9	10.3	7.0			
歴史・地理	141	125	156	1.3	1.0	1.5			
社会科学	248	175	204	2.2	1.5	2.0			
自然科学	3,012	2,717	2,405	27.4	22.8	23.0			
工学・技術	5,054	5,323	4,956	45.9	44.6	48.0			
産 業	18	10	10	0.2	-	-			
芸術・体育	73	70	49	0.7	0.6	0.5			
語 学	193	264	103	1.7	2.2	1.0			
文 学	702	1,240	1,222	6.4	10.4	12.0			
合 計	11,006	11,927	10,392	100	100	100			

昨年度、利用度が落ちたのはさびしい。哲学・工学技術の減少が目立つ。

## 2. 56年度 利用概況

開 館 日 数	248 日
総 入 館 者	34,294 人
1 日 平 均	138 人
1 日 帯 出 人 員	41 人
“ 冊 数	42 冊

## 3. 56年度 利用人員（科・学年別）

学科	学年	1	2	3	4	5	計	%
機 械		368	194	649	464	495	2,170	22
電 気		327	741	617	1,502	680	3,867	38
化 学		438	561	168	1,086	499	2,752	27
土 木		183	165	170	537	317	1,372	13
合 計		1,316	1,661	1,604	3,589	1,991	10,161	
%		13	16	16	35	20		100

学科ではECM土の順、例年不変。

学年では4.5.2.3.1の順（昨年は3.4.5.1.2）。

ベスト5は4E・4C・2E・5E・3M。

#### 4. 56年度 学年別・分類別・利用冊数

分類	1		2		3		4		5		計	%
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		
総記	74	6.0	140	8.3	98	6.0	102	3.0	165	8.0	579	5.5
哲学	287	22.0	19	1.1	19	1.0	370	10.0	13	-	708	7.0
歴史・地理	33	2.5	20	1.2	15	1.0	70	2.0	18	1.0	156	1.5
社会科学	19	1.5	31	2.0	27	2.0	98	3.0	29	1.0	204	2.0
自然科学	275	21.0	648	38.0	338	20.0	898	24.0	246	12.0	2,405	23.0
工学・技術	227	17.0	478	28.0	949	57.0	1,880	51.0	1,422	69.0	4,956	48.0
産業	-	-	2	0.1	2	-	2	-	4	-	10	-
芸術・体育	9	1.0	19	1.0	14	1.0	6	-	1	-	49	-
語学	11	1.0	39	2.3	11	1.0	28	1.0	14	1.0	103	1.0
文学	372	28.0	295	18.0	176	11.0	221	6.0	158	8.0	1,222	12.0
合計	1,307	100	1,691	100	1,649	100	3,675	100	2,070	100	10,392	100

#### 5. 56年度 春休（57年3月）利用状況

##### (1) 帯出人員及び冊数

学科	学年	人 員					冊 数				
		1	2	3	4	計	1	2	3	4	計
機 械		1	1	3	6	11	3	2	6	12	23
電 気		7	12	2	17	38	9	22	5	31	67
化 学		3	6	1	8	18	3	10	3	14	30
土 木			7	3	14	24		10	3	30	43
計		11	26	9	45	91	15	44	17	87	163

在学者 643 人の 7.1% 1 人当り 0.25 冊となる。

##### (2) 分類別人員数

分類	1	2	3	4	計
総記		7	3	1	11
哲学		2		4	6
歴史・地理		1	1	3	5
社会科学				4	4
自然科学	4	10	2	15	31
工学・技術	5	14	8	50	77
産業					
芸術体育		1			1
語学		2		1	3
文学	6	7	3	9	25
計	15	44	17	87	163

(3) 帯出者学年・科別

学年	科	分類 在籍人	総記	哲学	歴史	社会	自然	工・技	産業	芸・体	語学	文学	計
			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	M	41					2					1	3
	E	40					1	5				3	9
	C	40					1					2	3
	土	40											
	計	161					4	5				6	15
2	M	40					1				1		2
	E	38	3				4	8		1		6	22
	C	39	1	2	1		5					1	10
	土	39	3					6			1		10
	計	156	7	2	1		10	14		1	2	7	44
3	M	39						3				3	6
	E	40	1		1		1	2					5
	C	36	2				1						3
	土	38						3					3
	計	153	3		1		2	8				3	17
4	M	43	1		1		2	6			1	1	12
	E	41		1			7	15				8	31
	C	34		1		3	6	4					14
	土	41		2	2	1		25					30
	計	159	1	4	3	4	15	50			1	9	87
総計	629人	11	6	5	4	31	77			1	3	25	163冊

4年生の利用が断然高い。4E・4土・2Eが多い。

## 寄贈図書紹介

このたび卒業生御一同様が下記図書を寄贈して下さいました。厚く御礼申し上げます。ついでに末長く図書館に備付け活用させていただきます。

(付言)

昨年度の卒業生御一同から「世界伝記集成」の御寄贈を受けたのに続いて今回は左記の貴重な事典をいただきました。

今出ている中で最高の、最も詳しい「知識の宝庫」です。何でも分かります。

閲覧室に並べてあるので活用してください。

第16回卒業生(今年3月卒業)一同殿

世界大百科事典 全36巻 平凡社

総額 176,000

# 新着図書目録

◆印は図書館、他は各教育の研究室に所在するものを分別受入順に記載

## 総記

朝日新聞縮刷版 昭和56年10～1月号 朝日新聞社◆  
 福島民報縮刷版 昭和56年9月～11月号 福島民報社◆  
 河北年鑑 昭和57年版 河北新報社◆  
 辞典、事典総合目録'82 出版ニュース社  
 朝日新聞の用語の手引き 朝日新聞社  
 福沢諭吉選集10～14 岩波書店◆  
 研究者、研究課題総覧1981 人文・社会科学編 日本学術振興会  
 朝日年鑑1982年 朝日新聞社◆  
 現代用語の基礎知識1982年 特装版 自由国民社◆  
 日本写真年鑑 昭和57年版 日本写真新聞社◆

谷沢一  
 古典の読み方 祥伝社◆  
 全訳漢文大系 集英社  
 26 文選文章編1 同  
 27 同 2 同  
 28 文選詩編編3 同  
 29 同 4 同

人類の知的遺産 講談社◆  
 7 プラトン 同◆  
 15 アウグスティヌス 同◆  
 26 ルター 同◆  
 58 フッサール 同◆  
 67 トロッキー 同◆  
 71 ヤスバース 同◆

梅原猛著作集 集英社◆  
 4 地獄の思想 同◆  
 8 神々の流寓 同◆  
 9 塔 同◆  
 17 日常の思想 同◆

東洋文庫 平凡社◆  
 403 夢溪筆談3 同◆  
 404 西陽雜俎5 同◆  
 405 唐詩選国字解1 同◆  
 406 同 2 同◆

中国文明選 朝日新聞社◆  
 9 近世詩集 同  
 10 近世散文集 同  
 12 史学論集 同

塩谷郁夫 福島と近代文学 桜楓社◆  
 紀田順一郎 図書館活用百科 新潮社  
 敏原猛 仏像羅漢 集英社  
 論語・中国の古典1 学習研究社  
 Der Neue Brockhaus 1～6 Brockhaus

## 哲学

内村鑑三全集13・15～17 岩波書店◆  
 ルノー全集10 白水社◆  
 近代日本思想史の基礎知識 有斐閣◆  
 日本思想史の基礎知識 同◆  
 聖書語句大辞典 教文館

田分康孝 カウンセリングの理論 誠信書房  
 祐宗省三 行動療法入門 川島書店  
 A・エリス 論理療法 同  
 荒保宏 世界神秘学事典 平河出版  
 石井完一郎 青年の生と死との間 弘文堂◆  
 鹿野政直 近代日本の民衆運動と思想 有斐閣◆  
 田村義澄 日本仏教のこころ 同◆  
 石田瑞穂 苦悩の観望 同◆  
 山崎正一 現代哲学入門 同◆  
 宮川透 日本近代哲学史 同◆  
 渡辺二郎編 存在と時間入門 同◆  
 ニーチェ物語 同◆  
 斎藤祐蔵 英語の名言集 同◆  
 荒井献 総説・新約聖書 日本基督教団出版局  
 山本泰次郎 内村鑑三の根本問題 教文館  
 内村鑑三のひとりの弟子 同  
 川島重成 神話・文学・聖書 同  
 山谷省吾 基督教の起源 上・下 新教出版社  
 小沢三郎 内村鑑三不敬事件 同  
 R. E. クレメンツ 出エジプト記 新教出版社  
 P. R. アクロイド サムエル記 同  
 W. J. フォアースト ルツ記・エステル記・伝動の書・雅歌・哀歌11 同  
 E. W. ニコルソン エレミヤ書 同  
 K. W. カーリー エゼキエル R. ハマー ダニエル書・オセア書・アモス書 同  
 高橋三郎 無教会精神の研究 同  
 佐竹明 新約聖書の諸問題 同  
 小河崑 イエスの言葉 教文館  
 古屋安雄 激動するアメリカ教会 ヨルダン社  
 S. E. ミード アメリカの宗教 日本基督教団出版局  
 石原兵永 身近に接した内村鑑三 上・中・下 山本書店  
 フランクリン・H. リッテル

アメリカ宗教の歴史的展開 ヨルダン社  
 柳生望 アメリカピューリタン研究 日本基督教団出版局

桂沼寿雄 原典新約時代史 山本書店  
 平沢弥一郎 福音書異同一覽 同  
 ウォルフガング・E. パックス 図説聖書の世界 III パワロの歩いた道 学習研究社  
 E. ローゼ 新約聖書の周辺世界 日本基督教団出版局  
 W. G. キュンメル 新約聖書神学 同  
 F. F. ブルース イエスについての聖書外資料 教文館  
 日本思想大系 1 古事記 岩波書店  
 アウグスティヌス著作集 12 神の国 教文館  
 講壇現代の人間学 1 人類の進化と人間像 白水社  
 2 比較行動学と人間像 同  
 3 文化理論と人間像 同  
 4 歴史理論と人間像 同  
 5 心理学と人間像 同  
 6 世界宗教と人間像 同  
 7 哲学的人間学 同

聖書外典偽典 1 旧約外典1 教文館  
 2 同 2 同  
 3 旧約偽典1 同  
 4 同 2 同  
 5 同 3 同  
 6 新約外典1 同  
 7 同 2 同  
 別巻補遺1 同

Dustav Davidson A. Dictionary of Angels Free Press

歴史

角川日本地名大辞典6 山形 角川書店◆  
 岩波西洋人名辞典 岩波書店◆  
 日本史文献年鑑1975～1980 柏書房  
 古文書用語用語大辞典 同  
 フラウ・ウス・ヨセフス ユダヤ古代誌1～5 山本書店  
 ダニエル・ロプス イエス時代の日常生活1～3 同  
 佐藤順夫 ビルグリム・ファーザーズの足跡 松柏社  
 ジョン・ブライト イスラエル史 聖文舎  
 金崎善 地誌学へのアプローチ・4 単位の日本地誌 古今書院  
 同 4 単位の外国地誌 同  
 林正巳 神の民俗地誌 同  
 菊池万雄 日本の歴史災害 同  
 山中啓治 薩摩島の歴史地理学的研究 同  
 若尾俊平 古文書の基礎知識 柏書房  
 榎本篤 古文書への招待1 同



同 2 応用編	柏書房	今上益雄
藤岡謙二郎		新不動産登記研究(権利編)
日本歴史地理用語辞典	同	東京法経学院出版部
ダニングトン		御園生彦
ガウスの生涯	東京図書	詳論不動産表示登記
西村謙男		同
中心地と勢力圏	大明堂	内植克人
森川洋 中心地論1、2	同	続匠の時代
千田桂編		続々匠の時代
地図のかなたに	地人書房	山口光明
人島真二		狂気のアメリカ
森と海の文化	同	吉坂隆正
ウエルネル		日本の住生活
ディアスポラ 上	山本書店	小倉強 東北の民家
C.V. ウッドワード		宮本寛太郎 民具の基礎知識
アメリカ史の新観点 上・下	南堂舎	小寺平吉 北海道の民家
堀淳一編		小野芳次郎 東北地方の民家
地図の風景 四国編	そしえり	山本鶴巳 関東地方の民家
同 中部編 IV 長野・新潟	同	丹生谷章 中部地方の民家
角川日本地名大辞典	角川書店	杉本尚次 近畿地方の民家
41 佐賀県		鶴島規忠 中国地方の民家
日本歴史展望		同 四国地方の民家
9 崎嶇たる町人文化の開花	旺文社	杉本尚次 九州地方の民家
10 幕末維新をいろいろ詳論	同	同 地域と民家
11 明治国家の明暗	同	鶴藤忠志
12 戦争と平和に生きる 大正一昭和	同	環球地方の民家
		人間探究の社会心理学
日本つ山河		1 人間と社会
42 天と地の旅 山形	国書刊行会	2 人間と人間
日本庶民生活資料集成		3 人間と集団
27 三国交流誌	三一書房	4 人間と文化
原典アメリカ史		5 日本の社会心理学
1 植民地時代	岩波書店	松田岩男
2 革命と建国	同	新版現代学校体育大事典
3 デモクラシーの発達	同	大塚館書店
4 現代アメリカの形成 上	同	宇上正彦
5 同 下	同	体育学習評価ハンドブック
6 現代アメリカと世界1	同	同
日本歴史地名大系		江崎玲於余
23 愛知県の地名	平凡社	アメリカと日本 ニューヨークで考える

## 社会科学

六法全書 昭和57年版1、2	有斐閣	世界の民族
昭和56年版 青少年白書	大蔵省印刷局	1 オーストラリア・ニューギニア・メラネシア
日本教育年鑑 昭和57年版	ぎょうせい	2 熱帯アフリカ
岩波基本六法 昭和57年版	岩波書店	3 ヨーロッパ
研究テーマ 第二版		4 メキシコ・中央アフリカ
日本ビジネスレポート		5 大西洋・カリブ海
犯罪白書 昭和56年版	大蔵省印刷局	6 アマゾン・パンパス
N.イナモト		7 アンデス
日本人対アメリカ人	早稲田大学出版部	8 太平洋の島々
ウィリアム・K. カミングス		9 アフリカ南部・マダガスカル
ニッポンの学校	サイマル出版会	10 東南アジア島嶼部
谷口公三		11 東南アジア大陸部
PC 8001 ビジネスプログラミング	ナツメ社	12 インド亜大陸
佐藤毅編		
社会心理学	有斐閣	
高橋勇悦		
家郷喪失の時代	同	
上子武次		
日本人の家族関係	同	
河原宏 日本のファシズム	同	
山口定 ファシズム	同	

13 東アジア	平凡社
14 シベリア・モンゴル	同
15 中央アジア・西アジア	同
16 北極圏	同
17 アラブ世界	同
18 北アメリカ	同
19 人間 道具・技術	同
20 人類未来・総索引	同

## 自然科学

科学技術史概論	オーム社
新編基礎物理学	広川書店
理科年表 昭和57年	丸善
最新ガスクロマトグラフィー	広川書店
分析化学便覧 改訂三版	丸善
PAC化学実験を中心とした高校化学	三共出版
朝日コスモス1982年版	朝日新聞社
惑星ガイドブック1、2	誠文堂新光社
例文を中心とした漢学英語	広川書店
物理化学辞典	朝倉書店
化学辞典	森北出版
学術用語集 化学編	日本化学会
常用化学便覧	誠文堂新光社
科学技術と英表現大辞典 Vol.3小倉書店	同
常掲図解制写真 人体1~8	日本写真新聞社
分析化学便覧	丸善
松永義夫	
物性化学	倉庫房
竹内均 地球科学における諸問題	同
村上陽一郎	
技術思想の契機(知の革命)	朝倉書店
D.R. コックス	
専業系列の統計解析	森北出版
B.ホルチ	
応用多変量解析	同
植村泰忠	
半導体の理論と応用 上	倉庫房
庄野利之	
機械分析演習	三共出版
A. Jekker	
電気物性論入門	丸善
J. シュース	
物理学小辞典	共立出版
F. A. Cotton	
無機化学 上	培風館
小林善一編	
現代数学	同
D. A. フランク・カメネキ	
理工学基礎プラズマ	共立出版
丹生豊四郎	
核融合	同
H. アルヴェーン	
宇宙電気力学	講談社
アイザックニュートン	
プリンシピア	同
三島信彦	
マイコン物理	共立出版
郡城秋徳	
岩石学1~3	同
益富寺之助	
顕色岩石図鑑	保育社
大林辰蔵	

写真集・探査・太陽と惑星群 共立出版☆	高分子溶液物性 サイエンス社☆	岩澤健吉	岩澤健吉
Frederick T. Weiss	高田善之	局所群体論	岩波書店
官能基別・有機化合物定量法の実験	有機化学入門 日刊工業新聞社☆	竹之内脩	朝倉書店
広川書店☆	片山得道編	数学的構造	朝倉書店
竹内敬人	一般化学 180 講 同 ☆	大山桑 有限置換群	裳華房
有機化学 同 ☆	A. E. Martell	越山季一	
大塚昭信	配位化学 1〜3 結合とスペクトル		物理化学 演習と解法 上・中・下
美学生のための物理化学 同 ☆		内田老鶴圃新社☆	内田老鶴圃新社☆
堀田康雄他	長沢工 天体の位置計算 地人書館☆	吉田政幸	
英語で科学論文を書く人のために 同 ☆	藤井旭 星の旅 河出書房新社☆		有機反応論入門 サイエンス社☆
流谷昭司	日本天文学会編	杉本彰	有機化学概説 同 ☆
美学生のための機器分析 同 ☆	星図星表めぐり	杉浦二郎	一般化学 同 ☆
栗原藤三郎	四季の天体観測 同 ☆	綿枝邦彦	分析化学 同 ☆
有機化合物分析法 同 ☆	高橋健一		Louis P. Hammett
R. ベレンゼン	星の本の本 地人書館☆		理論有機化学 広川書店☆
織河の発見 地人書館☆	P. マーティン		小倉治夫
田村真一	新しい天文学 岩波書店☆		有機分析 付表・誘導体系 同 ☆
惑星状星雲 同 ☆	J. P. セール		山崎満 薬品分析化学・付表 同 ☆
守山史生	有限群の線型表現 同		穂積啓一郎
太陽その謎と神秘 誠文堂新光社☆	山田深雪		機器分析通論 同 ☆
富田弘一郎	半群論入門 横濱書店		中澤浩一
小型天体望遠鏡教室 同 ☆	橋山雄一		有機化学文献の調べ方 同 ☆
吉田正太郎	現代数学の基礎 昭晃堂		Jone M Cram
大望遠鏡の時代 同 ☆	マグナス J. ウェニンガー		エッセンス有機化学・自習の手引と問題の解法 同 ☆
星とはなんだろう 同 ☆	多面体の模型 教育出版		エッセンス有機化学 同 ☆
太陽と家族たち 同 ☆	I. M. シンガー		G. Natta
角谷保	トポロジーと幾何学入門 培風館		立体化学・3次元の化学入門 同 ☆
コンピュータのための数値解析 東京電機大学出版局	M. G. ケンドール		青木幸一郎
片桐重延	多変量解析 同		物理化学問題集 同 ☆
初歩からの数値計算 同	福山克 数理論理学 同		ティモンズ
村上陽一郎	河井壯一		合成に役立つ新しい有機化学反応 同 ☆
技術思想の要選 知の革命 7 朝倉書店☆	代数学何学 同		熊高哲 化学入門対話 同 ☆
ルードウィヒ・ベック	中村幸四郎		高分子学会編
数の歴史 1〜3 たたら書房☆	数学史 共立出版		化学者のための数学 東京化学同人☆
水林久雄	松田道彦		F. H. C. Kelly
化学演示実験 三共出版	外微分形式の理論 岩波書店		化学者のための実用数学 同 ☆
熊田恭一	松久俊郎		John W. Moore
土壌有機物の化学 学会出版センター	有限群と有限幾何 同		R. J. Ouellette
フレッド・ホイール	竹内勝 現代の球関数 同		化学その基礎へのアプローチ 同 ☆
宇宙の本質 法政大学出版局☆	田辺広城		尾藤忠旦
細矢治夫	発展方程式 同		化学語源辞典 三共出版☆
量子化学 サイエンス社☆	坂本礼子		橋本吉郎
P. A. H. Wyatt	双曲型境界値問題 同		英独羅日化学語大辞典 同 ☆
エントロピーと化学平衡 丸善☆	永尾汎 群とデザイン 同		日本化学会編
務台深 演習基礎有機化学 サイエンス社☆	今井功 応用超関数論 1, 2 サイエンス社		化学便覧・応用編・基礎編 1, 2 丸善☆
岡小天編	浪林浩 有限世界の数学・上 国士社		J. シューリス
レオロジー入門 工業調査会	C. J. Bradley		物理学小辞典 共立出版☆
谷藤喬 安定の条件 つりあう 法政大学出版局☆			山本義一
W. B. ハーランド	点群と空間群の表現 内田老鶴圃新社		大気環境の科学 4 気候変動 東京大学出版会
地球 同 ☆	武隈良一		木村敏雄
国部進 作業環境測定士のための分析概論 日刊工業新聞社☆	デジオファンタズ近似論 横濱書店		日本列島 1, 2, 上・下 古今書院
A. D. Baker	入門可換代数 宝文館出版		沼田真 生態学方法論 同
有機化学問題の解き方 東京化学同人☆	柴垣和三郎		金原繁 薄膜の基本技術 東京大学出版会
C. Compton	線形代数に連結した幾何学序説 みすず書房		中村誠太郎編
化学 1 その本質の理解 同 ☆	バガレロフ		ノーベル賞講演物理学 1〜12 講談社☆
飛田嘉彦	バガレオフ幾何学の基礎 内田老鶴圃新社		原色野外植物検索図鑑
有機量子化学入門 学会出版センター☆	アイゼンハルト		1 植物基本用語図解 全教図☆
石田清春	非リーマン幾何学 現代工学社		2 草原 同 ☆
相平衡 培風館☆	D. Hilbert		3 道・屋 同 ☆
林太郎 創造の化学 裳華房☆	ヒルベルト幾何学の基礎・エルランゲンプログラム 共立出版		4 田畑 同 ☆
原和二 クロマトグラフィー分離システム・考え方 選び方 丸善☆	森田紀一		5 水辺・海浜 同 ☆
日本化学会編	位相空間論 岩波書店		
有機金属錯体の化学 学会出版センター☆	本間龍雄		
伏野一音	微分幾何とトポロジー入門 新曜社		

6 林 金新四  
7 山 同  
8 高山 同  
新実験化学講座  
4 基礎技術3 光1 丸善  
19 高分子化学1 同  
基礎物理学選考  
22 力学演習 堂華房  
入門現代の数学  
7 具象から幾何学へ 日本評論社  
9 4次元のトポロジー 同  
ブルーバックス  
429 見てわかる力学 講談社  
480 クオーク素粒子物理の最前線 同  
482 生命の化学 同  
483 物理トリックだまされまいぞ 同  
地形学辞典 二宮書房  
町 敬 無確定量分析化学 森北出版  
朝比奈一男 運動とからだ 大修館書店  
水野篤行 水質底質調査入門 ラティス  
現代大文学講座  
11 宇宙の観測1 恒星社  
ブルーバックス  
472 人類はどこで生まれたか 講談社  
473 タイムワープ 同  
474 勝負の統計学 同  
475 新しい免疫学 同  
478 微積分に強くなる 同  
479 長寿の科学 同  
入門現代の数学  
1 非線型の現象と解析 日本評論社  
2 数値解析と非線型現象 同  
Julius Miklowitz  
Modern Problems in Elastic Wave Propagation Wiley-Interscience

工学・技術

共立総合コンピュータ辞典 共立出版  
MB-6890 LEVEL-3 BASIC  
ゲームブック アスキー出版  
コンクリート製品便覧 セメント協会  
セメント技術年報34 昭和55年 同  
改訂新版コンクリート工学ハンドブック 朝倉書店  
最新インターフェース素子規格表'81 CQ出版社  
最新メモリIC規格表'81 同  
最新TTLIC規格表'81 同  
最新リニアIC規格表'81 同  
最新電力用素子規格表'81 同  
最新FET電界効果トランジスタ規格表'81 同  
最新ダイオード規格表'81 同  
最新トランジスタ交換表'81 同  
同 規格表'81 同  
産業構造と技術革新 産業技術会議  
第7回リモートセンシングシンポジウム資料 計測自動制御学会  
土木建築技術者のための最新軟弱地盤ハンドブック 建設産業調査会  
第529回講習会高温構造の設計技術教材

日本機械学会  
昭和56年度電気四学会北陸支部連合大会  
講演論文集 電気四学会北陸支部連合大会  
昭和56年度電気関係学会関西支部連合大会  
講演論文集 電気関係学会関西支部  
電気電子技術者のための鉄道工学 丸善  
土木技術者のための鉄道工学 同  
増補下水道技術検定 公考対策技術同友会  
昭和56年度電気学会東京支部大会講演論文  
集1、2 電気学会  
ジョゼフソン効果 基礎と応用 同  
加速器とその応用 丸善  
RCD工法技術指針(案) 山海堂  
RCD工法によるダム施工 同  
写真でみるRCD工法によるダム施工 同  
コンクリート構造の限界状態設計法試案 土木学会  
産業用ロボットの技術 日刊工業新聞社  
マイコン機械入門 電波新聞社  
採石ハンドブック 技報堂出版  
オートマチックメカニズム・制御と計測 大河出版  
データ活用ハンドブック工作編 技術評論社  
マイコンサウンド学入門 広済堂  
最新コンクリート施工ハンドブック 建設産業調査会  
超音波技術便覧 日刊工業新聞社  
産業用ロボットの技術 同  
同 応用 同  
都市空間の計画技法 彰国社  
機械設計演習・ポンプ編 パワソ社  
JISによる実用的な設計製図法 理工図書  
昭和56年版 原子力白書 大蔵省印刷局  
日本機械学会講演論文集 No.820 1~6 日本機械学会  
機械工学SIマニュアル 同  
日本機械学会誌および論文集総索引第7集 同  
工業計測便覧 コロナ社  
現場アルミニウム合金鋼物 新日本鋳造協会  
水ガラス配合鋼物砂の性質と形成 同  
下水道施設設計指針と解説 日本下水道協会  
構造物基礎の設計計算演習 土質工学会  
土質基礎工学における有限要素法の適用 同  
電気設備事典 産業調査会  
基礎工学ハンドブック オーム社  
新航空機械工学便覧 応用編 コロナ社  
山田一男  
わからないところがわかるパソコン教本 同文書院  
岡村勉夫  
標準デジタルバスIEEE-488とその  
応用 CQ出版  
高橋清 センサ技術入門 工業調査会  
Tyler G Hicks  
技術論文の書き方 近代科学社  
耐震構造 森北出版  
上田実 電気機械とエネルギー変換工学 昭晃堂  
宮入庄太  
大学講義最新電気機器学 丸善

精解演習電気機器学 広川書店  
堀野武尚  
電気機械学 コロナ社  
林千博 大学課程電気機器2 オーム社  
三浦五郎  
電気機器工学 朝倉書店  
河村博 現場のPCTC技術 オーム社  
吉賀義亮  
マイクロコンピュータによるBASIC 工学図書  
谷口修 計測工学 森北出版  
佐々木賢一  
区解自動車製作の手順と実務 技術評論社  
麻野立男  
演習作成の基礎 日刊工業新聞社  
高橋清 半導体工学 森北出版  
S. M. Sze  
半導体デバイスの物理1、2 コロナ社  
石黒敏郎  
交直マグネットの設計と応用 オーム社  
竹内寿太郎  
初等数学でわかる電気機器設計 同  
宮入庄太  
電気機械エネルギー変換工学 丸善  
三浦功 放射線計測学 堂華房  
須田信英  
原子炉の動特性と制御 同文書院  
M. M. E. L. - Wakil  
原子炉の熱力学 同  
山城和雄  
低レベル放射線計測 共立出版  
兵衛典典  
放射線遮蔽入門 産業図書  
ラマージュ  
原子炉の初等理論 上・下 吉岡書店  
長谷川修  
原子炉工学大要 堂華堂  
内田信二郎  
核融合とプラズマ制御 上 東京大学出版会  
山崎俊雄  
電気技術史 オーム社  
村田二郎  
最新コンクリート技術選書1 山海堂  
金橋裕樹  
工業英語 機械編 東京電機大学出版局  
中山秀太郎  
強度設計の基本をつくる材料力学入門 大河出版  
北川一雄  
制御用マイコンの作り方便い方 オーム社  
大原茂之  
区解マイコンのためのアセンブラ入門 同  
小牧富松  
区解マイコンのためのBASIC入門 同  
横田英一  
区解マイクロコンピュータ・Z-80の  
使い方 オーム社  
高橋三雄  
実際に役立つパーソナルコンピュータ活用  
法 広済堂  
A. J. ハーバード  
工業英語入門 創元社  
大木創 ステップモータの理論と応用 実教出版

はじめて学ぶ機械現場の作業計算 技術評論社  
 厨川守 オーディオと音楽のための音質のすべて 誠文堂新光社  
 D. J. シューリング 模型実験の理論と応用 技報堂出版  
 藤田義明 テクニカルイングリッシュ 南雲堂  
 工業英作文のコツ 同  
 工業英作文説明書実例と書き方 同  
 工業英語の正しい訳し方 同  
 松本安弘 科学技術英語の書き方 北星堂書店  
 加藤一郎 図解ロボットハンド 工業調査会  
 F. R. ラックデュッシュル 科学計算のためのBASICサブルーチン集 I 現代数学社  
 小黒正樹 マイコン入門講座 広済堂  
 加川幸雄 有限要素法による振動音響工学・基礎と応用 培風館  
 相崎一男 NC工作機械活用ハンドブック 工業調査会  
 神戸幸生 電波障害ハンドブック 電技実験社  
 岡本貞三 耐震工学 オーム社  
 南 誠 だれにでもわかる空気圧技術入門 基礎編 応用編 オーム社  
 田中広 マイコンプログラミング 500 題 日刊工業新聞社  
 竹内鶴三 内燃機関工学演習 パワー社  
 一色尚次 わかりやすい熱と流れ 森北出版  
 富塚清 オートバイの歴史 山海堂  
 斎藤収三 音声情報処理の基礎 オーム社  
 武部幹 回路の応答 コロナ社  
 古賀利郎 回路の合成 同  
 栗田稔 画像のソフトウェア ウェーバー  
 ウェーバー 水質制御の物理化学的プロセス 朝倉書店  
 中島重雄 衛生工学入門 同  
 髭秀樹 現代都市計画・用語録 彰国社  
 ロベール・オーゼル 都市計画の鍵 同  
 都市空間の計画技法 同  
 支倉幸二 都市計画 III・都市計画事典 技報堂出版  
 神宮敬 ポンプの設計製図・機械設計 4 パワー社  
 橋山重吉 ポンプの設計・機械設計 3 同  
 大町昌義 うず巻ポンプの設計 同  
 石垣可速 エレクトロニクス入門 明倉書店  
 瀬口裕幸 要素と設計・機械設計工学 I 培風館  
 中島寛 現図と展開図法 日刊工業新聞社

寺尾宣三 破壊の秘密こわれる 法政大学出版局  
 P. J. Goodhew 電子顕微鏡使用法 共立出版  
 石黒孝彦 基礎工業電気化学 産業図書  
 斎藤正三郎 例題演習化学工学熱力学 日刊工業新聞社  
 新井春人 測量士補試験の解明 I コロナ社  
 加藤晃 土木計画学のためのデータ解析法 共立出版  
 西垣晋作 道路鉄道曲線設定法 コロナ社  
 大森武司 電力用コンデンサ 電気書院  
 大嶋幸一 電力コンデンサ 東京電機大学出版局  
 前田明志 サイリスタ変換回路入門 同  
 森春元 整流器 同  
 賀勢吾 実用切削技術教本 日刊工業新聞社  
 W. D. Kingery セラミックス材料科学入門・基礎編・応用編 内田老舗新社  
 岡地栄編 電気工学英語便覧 日刊工業新聞社  
 電気学会編 電気工学ポケットブック オーム社  
 電気工学ハンドブック 同  
 石橋勇一 英和独音電気用語大辞典 同  
 井口昌平 川を見る・河床の動態と規制性 東京大学出版会  
 飯倉勝高 都市の工業と村落の工業 大明堂  
 土木学会編 構造力学公式集例題集 土木学会  
 井上淳昭他 実務者のための水防技術ハンドブック 山海堂  
 新体系土木工学  
 2 弾率統計解析 技報堂出版  
 6 弾性体の力学 同  
 12 土木構造設計法 同  
 21 水理学の基礎 同  
 26 水文学 同  
 46 基礎工法 III 同  
 52 土木計画のシステム 同  
 78 宅地造成・土地造成・上・下 同  
 92 エネルギー計画 同  
 99 土木施工 同  
 土木工学大系  
 3 自然環境論 彰国社  
 21 都市環境論 同  
 25・交通 I 同  
 応用機械全書  
 3 機械製作法 森北出版  
 4 同  
 ブルーバックス  
 439 模型からの発想 講談社  
 481 マイコンによる知的生産の技術 同  
 基礎機械工学全書  
 9 伝熱工学 森北出版  
 最新機械工学シリーズ

7 伝熱工学 森北出版  
 アン&スコット・マグレガー 2 種 草思社  
 つくりながら学ぶやさしい工学  
 竹中俊夫 S I の使い方 オーム社  
 河口洋一郎 Digital Image コンピュータグラフィックスの世界 アスキー出版  
 中村宏樹 偏微分方程式と境界値問題 東京大学出版会  
 村越康治 マイクロコンピュータの基本ソフトウェア入門 C<sup>P</sup>/M アスキー出版  
 横山克哉 ホームVTR入門 コロナ社  
 都築泰雄 電子計測 同  
 大熊孝 利根川治水の要選と水害 C. L. デム 東京大学出版会  
 材料力学と変分法 プレイン図書  
 Donald Ennuin Knuth 数値計算法 The Art of Computer Programing サイエンス社  
 岩井重久 水質データの統計的解析 森北出版  
 緒方健二 図解パーソナルコンピュータ 初歩のラジオ別冊 誠文堂新光社  
 丸山弘志 機械技術者のための鉄道工学 九音  
 岸松平 機械製作法 (II) 森北出版  
 長江貞彦 コンピュータ図形処理 共立出版  
 横山稔 NEC・PC-8001 N-BASIC プログラミング教本 広済堂  
 小林一輔 繊維補強コンクリート オーム社  
 P. A. Vesilind 下廃水汚泥の処理技術 公害対策技術同友会  
 George C. Maling Inter Noise '80 Proceedings Vol I-II Longman  
 Sord Home Control Computer M 100 Ace Series ソード電算機システム  
 A Guide for the Field Testing of Bridges ASCE  
 Monitoring Structural Integrity by Acoustic Emission 同  
 Acoustic Emission 同  
 Herhert Reismann Elasticity Theory and Applications John Wiley  
 H. N. Ahuja Construction Performance Control by Networks 同  
 T. H. Richards Energy Methods in Stress Analysis Ellis Horwood

産 業

通信白書 昭和56年版 大蔵省印刷局  
 谷藤正三 交通革新 森北出版  
 熊田芸一 土壌有機物の化学 学会出版センター  
 長野格 商業英語文法教本 大修館  
 秋山高志 図録農民生活史事典 柏書房

## 芸術

科学写真の世界 共立出版  
 1980年度日本体育協会スポーツ科学研究  
 報告集Vol.1.2 日本体育協会  
 オリンピック事典 プレスギムナスナカ  
 近世日本相撲史5 ベースボールマガジン社  
 山口公典他 シンセサイザー入門心得帖 オーム社  
 マレック ショパンの実像 東京創元社  
 岩波美術館テーマ館 4室・踊るひと 岩波書店  
 6室 生きものの姿 同  
 歴史館 同  
 9室 ひとと自然へのめざめ 同  
 11室 ひとと自然をみつめる 同  
 ブルーバックス 477 ゴルフの科学 講談社  
 浮世絵装花 ベルリン東洋美術館・リートベルク美術館  
 小学館  
 日本古寺美術全集 11 石山寺と近江の古寺 集英社  
 14 鹿嶋寺と仁和寺・大覚寺 同

## 語学

よく使われる英語の慣用句とことわざ事典 秀文インターナショナル  
 HBJ学生アメリカ英語辞典 同  
 開明英文文法 文建書房  
 英文用例事典・文法 日本図書ライブ  
 同 イデオム 同  
 ロングマン簡明英英辞典 Longman  
 国語大辞典 小学館  
 独和新辞典 三省堂  
 諸橋轍次 新漢和辞典 大修館書店  
 横瀬彦彦 和製英語を正す 朝日イブニングニュース  
 井桁貞敏 コンサイス露和辞典 三省堂  
 和久利賢一 ロシヤ語四週間 大学書林  
 渡辺香根夫 現代フランス語表現辞典 大修館書店  
 伊吹武彦 仏和大辞典 白水社  
 香坂順一 現代中国辞典 光生館  
 佐藤勇 和露辞典 講談社  
 早川東三 NHKドイツ語入門 日本放送出版協会

山川文平 やさしいドイツ語入門 郁文堂  
 諸橋轍次他 広漢和辞典 上巻 大修館書店  
 北川大憲 現代実用英文ガイド 北星堂  
 最所フミ 英語の習得法 研究社  
 東田千秋 直訳という名の誤訳 南雲堂  
 小西友七 アメリカ英語の語法 研究社  
 P.ミルワード 英語感覚の秘密 日本翻訳家養成センター  
 毛利可信 英文法の知識 研究社  
 植木五一 新英語一日一語 同  
 小宮山久之助 組織的完成英文法 同  
 松川昇太郎 新活用英文法 同  
 山崎貞 新自修英文典 同  
 安藤貞雄 前置詞のポイント 同  
 岩田一男 基本動詞のポイント 同  
 緒方進 英文法のポイント 同  
 佐々木学 高校英語の総合研究 同  
 梶木隆一 高校英語12巻 同  
 海江田進 基礎と応用高校英語の要点 同  
 佐々木高政 基礎英語の復習 同  
 伊藤和夫 英文法教室 同  
 児玉仁士 英語は前置詞から 同  
 小宮山久之助 高校初年英文法教室 同  
 清成孝 新英文解釈一日一題 同  
 渡辺美豊 詳読英文解釈 同  
 佐山栄太郎 最新英文解釈長文の徹底的理解 同  
 小宮山久之助 現代作家中心英文解釈と積文の研究 同  
 志賀武男 英文法を活用せる英文解釈の徹底的研究 同  
 英文解釈の最新研究・基礎編・標準編・応用編・長文編 同  
 山田和男 野球の英語 文建書房  
 吉川美夫 新英文解釈法 同  
 朱牟田反雄 英文をいかに読むか 同  
 安部勇 英語の発音とその急所 同  
 山崎貞 新々英文解釈研究 研究社  
 祐本寿男 英文解釈ゼミ 同  
 毛利可信 ジュニア英英辞典 同

三戸雄一 日英対照発声語(オノマトペ)辞典 学書房  
 外山滋比古 外国語の読みと創造 研究社  
 須沼吉太郎 英語比喩表現辞典 究竹出版  
 斎藤祐哉 英語類義語辞典 大修館  
 多田幸敏 英語イデオム事典 同  
 久間圭子 生きた英語を学ぶ知恵 同  
 P.ミルワード 英語の語法診断 南雲堂  
 石山宏一 現代用語を英語にする辞典 グロビュー社  
 小西友七 アメリカ英語の語法 研究社  
 新訳漢文大系 87 史記7 世家・下 明治書院  
 Oxford Elementary Learner's Dictionary of English Oxford  
 Longman Lexicon Contemporary English Longman  
 Vocabulary Builder Barro's Educational Series  
 Word Mastery A Guide to the Understanding of Words 同  
 1100 Words you Need to know 同  
 504 Absolutely Essential Words 同  
 Harvey M. Taylor English & Japanese in Contrast Regents

## 文学

万葉のうた 童心社  
 有島武郎全集10 筑摩書房  
 島崎藤村研究5~7 双文社  
 定本上田敏全集10 教育出版センター  
 アンデルセン自伝わが生涯の物語 岩波書店  
 新田進一 与謝野晶子・短歌シリーズ・人と作品 桜楓社  
 中沢生子 聖書とアメリカルネサンスの作家たち 山本書店  
 渡部昇一 物語英文学史 大修館  
 桜庭信之 写真集イギリスの歴史と文学3・ロンドン 同  
 小堀桂一郎 森鷗外・文業解題 岩波書店  
 瀬沼茂樹 評伝島崎藤村 筑摩書房  
 小田切進 続文庫へのみち 東京新聞出版局  
 ビーター・ミルワード ミルワード氏の昆虫記 新潮社  
 吉田満 戦艦大和の最期 講談社

		新潮現代文学		批評の途	研究社	
小泉タエ	父母の囁	講談社☆	4 秀吉と利久・一隅の記	同 ☆	現代語訳日本の古典	
川口久雄	平安朝の漢文学	吉川弘文館	73 エロ事師たち・火垂たる墓	同 ☆	3 古今集・新古今集	学習研究社☆
丹地文子	源氏物語の世界・京都	平凡社	今井兼衛		8 今古物語	同 ☆
貞紐伸彦	青春の遺書	双葉書房	国文学やぶにらみ	和泉書院	ロマノラン全集	
新潮日本古典集成	平家物語・上	新潮社☆	ガストン・バシュラール		10 戯曲Ⅱ	みすず書房☆
			空間の轉学	思潮社	22 芸術研究	同 ☆
			高橋正雄		26 日記Ⅰ コルム街の僧院	同 ☆
			ニュークリティシズム研究	北星堂書店	34 書翰Ⅱ B・母への手紙	同 ☆
			ノースロップ・フライ			

## 読んでみませんか

—— 新着図書の中から ——

東北の民家(増補版) 小倉強著 2500円, 379P 相模書房

庶民の生活の舞台としての民家に対する関心の高まりを反映してか、近年民家関係の本がかなりふえてきているが、そうした中で本書は今和次郎の「日本の民家」、蔵田周忠の「民家帖」、野村孝文の「南西諸島の民家」等とともに日本の民家研究の古典的名著に数えられる力作。今や蔵田が広く日本各地の民家型を採集し、各々が持つ顕著な一面に光を当てて論じているのに対し、野村や小倉は対象地域を限定して総合的な考察を試みている。本書は形態面のみならず、風土性、文化の系統、構造技術、生活様式との関連など、さまざまな側面から詳細かつ積極的な論及をみせており、単なる民家礼讃や随想とは次元を異にしている。

(社会科 佐々木史郎)

100万人の金属学

アグネ利

日本の人口の約1%にあたる100万人が読んで、おもしろく、かつ分かるということは、著者にとっては高い水準の知識と文章能力が要求されるだけに、内容のある本である。

(機械工学科 菅野善之)

分析化学Ⅰ～Ⅴ

コルトフ著 広川書店

工業化学科の学生は2年で分析化学を学ぶが、おそらく教科書の理解に困難を感じているのではないか。一方ささらに深く理解を深めたい学生もいるに違いない。この両方の学生に分析化学全般について初級と上級両方のコースに利用できるように書かれた本。著者のKolthoffは世界的に有名な分析化学者。本書を通覧しておくだけでも工業化学科学生にとって将来大きな自信となることを信じて疑わない。一章でもよから読んで戴きたい。

(委員 工業化学科 小磯武文)

鉄の歴史 ルードウィヒ・ベック著 たたら書房刊

世界的名著、単に鉄の技術の歴史だけでなく、文化的、技術的に鉄の世界史を体系づけた本。日本経済の高度成長が始まった昭和30年代から環境汚染が問題になるにつれて、技術史論も大きくクローズアップしてきた。また、石器、青銅器につづいて鉄器時代が現代に至っている点からも、鉄の歴史を通して、技術史、文化史を考えることは、意義がある。

化学入門 暗話・暗記より理解する化学へー 鹿島 哲著 広川書店

化学入門の啓蒙書。この分野の古典としては岩波文庫のオストワルドの「化学の学校」が有名であるが先生と学生の対話する形をこの書にまねて著者が新しく

現代風に書いたもの。

化学を暗記物と考えている学生が多いが、このような本をじっくりと興味をもって読めば自分の感違いに気がつくだろう。学生が理解不十分と思われる点を先生が質問し、学生が自発的に理解を深めてゆくというやり方で、やさしいところからかなり高度の内容に亘って解説されている。肩のこらない楽しいケミストリーの本というべき本書を2週間の貸出し期限内で読破されることを。

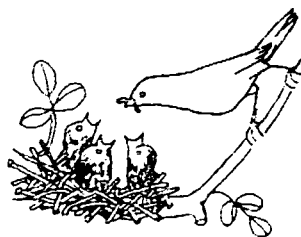
(委員 工業化学科 小磯武文)

新体系土木工学26巻 「水文学」—確率論的手法とその応用— 土木学会編、神田徹、藤田陸博共著  
「技報堂出版」

水文学という学問は高専の学生には耳新しいかもし

れない。地球表面における水の循環を研究する学問であり、その歴史は古く内容も広範な分野にわたる。水文学へのアプローチの仕方として、deterministic approach と stochastic approach の二通りがあり、本書は後者の研究方法を解説したもの。第1章において、まず水文学の発展経緯が略述されている。次に降雨—流出関係、第2章では水文学の頻度分布の解析法、第3章では水文学の時系列特性の解析法、第4章では水工計画への応用を目的とした水文現象の数値simulationの方法、第5章では降雨の流出過程と流出モデル、第6章では線型流出系における線形核の同定法、第7章では非線形流出系における非線形核の同定法、第8章では kalman filter theory と GMDH theory が紹介されている。高専生には難解な書物かもしれないが、興味のある学生には一読を推める。

(委員 土木工学科 菅野一彦)



# 今年度の顔振れ

## 図書委員会

館長	池田 豊	(一般教科)
副館長	小磯 武文	(工業化学科)
委員	西山 公紀	(一般教科)
"	佐藤 憲男	(機械工学科)
"	佐藤 寿雄	(電気工学科)
"	山崎 数彦	( " )
"	官野 一彦	(土木工学科)
"	事務部長	

委員	庶務課長	
"	図書係長	

(※ 視聴覚専任)

## 図書係

係長	加藤 勇	
係員	大谷 敦子	(整理担当)
"	大久保 フミ	(閲覧 " )
"	山野辺 憲子	(受入 " )

## 学生図書委員会

	M	E	C	土
1	小池 次雄 今野 万寿雄	榎内 康浩	小田 和広 波谷 博人	石井 政宅 高橋 幸太郎
2	山本 勲一 坂本 秀樹	菅波 寿	坪井 浩征 田代 寛	柿沢 卓司
3	渡部 淳	菅野 省英	副委員長 高橋 和浩 西郡 利太	志賀 晃一
4	委員長 鈴木 健吾	穴戸 博	目黒 千麻子	草野 滋 広坂 忠司
5	加藤 信浩	木村 義昭 菊地 稔	但野 春高	高橋 正人

## 当館のあゆみ

56.12 ~ 57.5

- 12.2 ビブリア第45号を発行  
福島高専研究紀要第17巻第1号を発行
- 1.14 第6回図書委員会  
①ビブリア第46号編集案
- 1.20 第3回学生図書委員会  
①帯出期間延長の要望の取扱い
- 1.27 学生図書委員会が、帯出期間延長について  
全学生にアンケートを行なった。  
・「後輩にすすめる本」(5年生)アンケート用紙を学生図書委員が配った。
- 2.1 同上アンケートを回収した。
- 2.8 福島高専図書館蔵書目録第5号を発行
- 2.10 第7回図書委員会  
①学生帯出期間延長(14日間)案  
②ビブリア第46号編集案
- 2.17 教官会議で「図書館規程の一部を改正する案」(来年度から学生の帯出期間を14日間とする)が承認された。
- 3.8 春休みの長期貸出しが始まった。  
・ビブリア号外第3号(帯出期間延長の予告)を1~4年生に配布した。
- 5.12 57年度第1回図書委員会  
①今年度の目標
- 5.19 57年度第1回学生図書委員会  
①委員会の編成
- 5.26 教官会議で今年度の目標が承認された。
- 5.10 1年生に「図書館利用の手引き」及び帯出カードを配布し、館長が利用法を説明した。